



発行: NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F
Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール: info@danishforum.jp

国と人々をつなぐもの

二つの海難事件から

異なる国と国、人々を結びつけるものとは何なのでしょう。私たちは日ごろ何となく、それは外交によってなされると漠然とっていて、外交の重要性に疑問を持つこともありません。しかしふと考えて世界を見直してみると、現実には友好も平和も、諍いも戦争も、外交が実体的にそこに貢献したり問題を解決したりすることはあまり無い（というより殆ど無い）ということに気づかされるのです。デンマークと日本の国交が150年を迎えた今、政府間で行われる外交を超えて、時には国や人々を結びつける人としての勇気や行動があることを、日本の沿海で発生した二つの海難事件を通じてあらためて考えてみたいと思います。

1957年2月10日 冬の太平洋は大時化となっております。荒天の中、徳島の木材運搬船高砂丸は紀伊半島潮岬沖で不幸にも船舶火災を起します。船長含め乗り込んでいた3人は、折からの強風に対処のしようも無く船から荒海へと脱出します。たまたま神戸に向かって航行中であったデンマークの貨物船エレンマースク号が炎上中の高砂丸を発見して停船し、自船の救命艇で救助活動を行います。3人は海上から救助されエ号の舷側の縄梯子に取り付きませんが、力尽きた高砂丸船長は海中に落下してしまいます。その時エ号の機関長であったヨハネス・クヌッセンが落下した日本人船長を救うべく、荒れる海に飛び込み波にのまれてしまったのです。その時まだ39歳の若い機関長でありました。年月が経過し、このことは最早あまり知られなくなってきてしまっていますが、ひとりのデンマーク人が示した雄々しく優しいところは、今後の日デン関係のなかでも長く語り継がれてゆくべきでしょう。

もうひとつの海難事件は、時代をさかのぼっての1890年の9月16日のこと。トルコ帝国を代表する軍艦エルトール号（約650名乗り組み）が日本に儀礼訪問を行って祖国に向かう帰路、折から来襲した台風の暴風波のため潮岬近くの串本沖で座礁沈没してしまいます。深夜のことでありましたが、この遭難を知った串本大島村野野集落の人々は暴風雨の中、集落をあげて不眠不休でこの異国の船の人々を救助しようとします。日々の生活さえ豊かではない寒村の人々は自分たちの危険をかえりみず救助活動を行い、持てる食糧や衣類や薬品を遭難者のために躊躇無く供出し介護にあたりました。祖国を遠く離れて遭難した乗組員のうち約70名が大島村の人々によって救助され、翌年日本海軍の軍艦によって故国に送り届けられました。この海難は当時トルコでは大事件でありましたし、大島村の人々の行動はトルコの人々に大きな感動を与え、遠い極東の小さな国に過ぎなかった日本に対する強い敬意と親愛の礎となったのです。以来様々な国際政治情勢の中においてもトルコの人々は終始親日の姿勢を持ち続けており、この海難事件における串本大島村の人々の行動はまさに外交がなし得ることより遥かに大きな恩恵を日本国と日本人、それに日本とトルコの両国関係にもたらし続けています。



エルトール号殉難将士慰霊碑

私たちは日常それぞれの業務の中で、様々な分野、様々な場面で外国人と接触しますが、一人の日本人として、どのように振舞うのか、どのような所作をとるのかということが、世界の中で日本と日本人にもたらすものは決して小さくはない筈です。 (T. O)



ヨハネス・クヌッセン
機関長



クヌッセン機関長
記念公園
顕彰碑・胸像

国と人々をつなぐもの 二つの海難事件から

デンマークのエスベン・L・ラーセン環境食糧大臣来日

デンマーク農業理事会日本事務所設立50周年を祝いデンマークのエスベン・L・ラーセン環境食糧大臣、フレディ・スヴェイネ駐日大使がデンマーク農業理事会を訪れ、食糧大臣からお祝いの言葉と記念品をいただきました。デンマーク農業理事会職員からDANISHマークのついた製品、外食店のメニューやポスター、デンマーク産の豚肉を使用している商品などについて説明をしました。



ウーレンホルト社

フランク・ウーレンホルトさんご一行来日

デンマークのチーズ商社、ウーレンホルト社、フランク・ウーレンホルト会長が来日しました。

昨年8月デンマークミッションを行った際にウーレンホルト社、フランク・ウーレンホルト会長の自宅にご招待頂き、そのお礼を込め帝国ホテルにて「フランク・ウーレンホルトさんご一行を歓迎する夕べ」が2017年3月6日(月)に開かれました。当日はアスカー・クリステン・スコガード農業理事会副会長、カレン・ヘックラップ理事長も参加して、名取会長の挨拶、ユニオンチーズ佐藤社長が乾杯の挨拶をし、和やかな時間をすごしました。



DANISH ポークアカデミー 開校

デンマークで長年培われた技術と理論を学ぶポークアカデミーが5月14日(日)～5月26日(金)の日程で開校されます。今年も豚肉に関する業界関係者25名がポークアカデミーに入校いたします。次号で今回参加された方の感想をご紹介します。



デンマークチーズ協会 平成29年5月28日(日)

デンマークチーズ協会親睦ゴルフコンペが千葉縣市原市上高根「ニュー南総ゴルフクラブ」で開催されます。

レゴランド オープン！！

だれもが一度は手にして遊んだ事のあるブロック、デンマークのおもちゃメーカー「レゴ」。デンマークをはじめ世界6カ国、8番目に4月1日名古屋の金城埠頭にレゴランド・ジャパンがオープンしました。2歳から12歳の子供とその家族が遊べるテーマパーク。7つのエリアで40以上のアトラクションが楽しめます。



NEW FACE

MEM FACE 4月よりデンマーク農業理事会に新しいスタッフが加わりました。一色聡史です。当理事会の業務に関わってまいります。皆様には今後お世話になることと申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

GCフェスティバル2017 開催

4月23日(日) EX THEATER ROPPONGIにて「GC フェスティバル 2017」が開催されました。3回目となる今回は the pillows、怒髪天、vivid undress、500,000,000YENの4組のアーティストが出演し大盛況のもと終了しました。当日はデンマーク駐日大使フレディ・スヴェイネ氏も会場にいらしてました！！



「GCグランドフェスティバル」の開催を通じ、障がい者が、支援やサービスを受ける側ではなく、サービスを提供する側になる。継続的な事業を生み出すことで、就労を増やす活動にデンマーク農業理事会も応援サポーターとして参加しています。



日本デンマーク外交関係樹立 150周年を記念して発売された 記念切手を20名様に プレゼントいたします

応募方法

FAX 又はメールにて、住所・名前・会社名・連絡先(電話又はメールアドレス)記入の上お申し込みください。 FAX・・・03-3213-5406

✉ info@danishforum.jp 〆切 6月末日

今年は、1867年に日本とデンマークが修好通商航海条約を締結してから150周年となります。同条約の批准日の5月2日に記念切手が発売されました。ニューハウン・チボリ公園・豚と農業・自転車に乗る人・風力発電・アンデルセン童話・お城 など文化や風景、「HYGGE (ヒュッゲ)」をテーマにデザインした可愛い切手です。



NPO法人デンマークの食と暮らし研究会

法人会員担当窓口の皆さまへ 平素は法人会員としてNPO法人デンマークの食と暮らし研究所に対し格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。法人会員の皆様には引き続きご支援をいただきたく「法人会員年会費(更新)のお知らせ」をご案内させていただきます。今後も変わらぬご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

編集後記

今年のGW、皆さまは、どのように過ごされましたか？ 私はパントリーとクローゼット、納戸の片付けをしました。たしか・・・??? 去年引越したばかりなのに・・・何故だ！？ すっかり片付け貧乏神は出ていったかな・・・ 次の祝日は7月で3連休ですね、今から楽しみです。今年は土曜日に祝日が重なり4日も祝日が減り、なんだか損した気分(泣)、振替休日にしてほしいですね。

K. H



デニッシュマークは、良質なデンマーク産豚肉を使用した製品やメニューに表示されています。

